

令和8年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一 般 選 抜】

【外国人留学生特別選抜】

人文社会学専攻 社会学コース

〔専門科目〕

試験日：令和8年1月31日（土）

注 意

1. 解答は、問1・問2・問3のそれぞれに対応した解答用紙（3枚同封）に記入すること。なお、それぞれの解答用紙に受験番号及び氏名を記入すること。
2. 総ページ数 — 8ページ（第1ページ・第5ページは白紙）
3. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

問1 次の文章を読んで、日本語で設問に答えなさい。なお、解答に際しては、解答用紙に a)、b)、c)を明記すること。

問題文は著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は著作権の関係で掲載しておりません。

出典 Wahl-Jorgensen, Karin, 2019, *Emotions, Media and Politics*, Polity Press. (=2020, 山腰修三・三谷文栄訳, 『メディアと感情の政治学』勁草書房, 212-215.)

※ 出題にあたって本文の一部を改変・省略した。

- a) 下線部①の文を日本語に訳した上で、メディア論を用いてその文の意味を具体的に説明しなさい。
- b) パパチャリッシは、ソーシャルメディアのアーキテクチャについて、下線部②のように定義し、そのアーキテクチャに対してユーザーが修正、異議申し立て、抵抗することもありうると論じている。この考え方について具体例を挙げて簡潔に説明しなさい。
- c) 下線部③の文について、社会学の理論を用いて簡潔に説明しなさい。

問2 次の文章を読んで、日本語で設問に答えなさい。なお、解答に際しては、解答用紙に a)、b)、c)、d)を明記すること。

問題文は著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は著作権の関係で掲載しておりません。

出典 堀田裕子, 2021, 「女性差別を身体論から考える」西原和久・杉本学編『マイノリティ問題から考える社会学・入門——差別をこえるために』有斐閣, 31-33.

※ 出題にあたって本文の一部を改変・省略した。

- a) 本文< A >に入る人名を答えなさい。
- b) 本文< B >に入る語句を答えなさい。
- c) 下線部①について、以下の問いに答えなさい。
 - c-1. 「予言の自己成就」を 100 字以内で定義しなさい。
 - c-2. 実践によって作りだされる自己成就的な「女性」あるいは「男性」の「性質」について、本文とは異なる具体例を用いて 300 字以内で説明しなさい。
- d) 下線部②「セックスはジェンダーである」という筆者の主張の意味を、本文に出てきた概念を用いて 300 字以内で説明しなさい。

問3 次の設問のなかから2つを選び解答しなさい。なお、解答用紙にどれを選んだか明記すること。

- a) 準拠集団論について、関係する文献や論者に言及しつつ、具体例も交えながら説明しなさい。
- b) 「弱い紐帯の強さ (the strength of weak ties)」について、具体的な現象を挙げて説明しなさい。
- c) 社会保障の分野で用いられる「応能負担」と「応益負担」について、それぞれを説明したうえで、両者の違いを説明しなさい。
- d) 国際人口移動もしくは国内人口移動とその社会学的背景についてのトピックを一つ選び、具体的な例を挙げて論じなさい。
- e) 質的調査法に分類される「グラウンデッド・セオリー・アプローチ」と「オーラルヒストリー」について、それぞれを説明したうえで、両者の違いを説明しなさい。